

# +

# 結核しずおか

7号2001年9月25日

発行所

財団法人結核予防会静岡県支部  
〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 花崎敏行

印刷 三協印刷株式会社



(写真提供 富士市 一条義明氏)

## 静岡県支部運営について

毎年今の時期になると住民健診の実施者数が気になります。「結核緊急事態宣言」が出された11年度を除くと、過去六年間は微減であります、そのような状況下に於いて社会経済情勢は悪く単価アップも出来ずにいます。理事会には毎年、歌い文句のように事務の効率化合理化に誠心誠意努め財政の健全化に努めます。と言うものの誠にもって「入るを図って出を制す」ことは難しい問題であります。

その為、平成13年度よりコンピューターの更新を図り、新ソフトによる健診結果報告書、事業実施報告から請求書及び統計に連動するように始めたがなかなか思うようにいかないのが実態であります。①イメージ通りのソフトがなかなか出来ない②個々のソフトに経費が掛かり過ぎる③職員の研修に時間が必要であるが年度の前半は業務が多忙で難しい④稼働出来ない部分もあって問題点が把握出来ずソフト会社に指示出来ないなどがネックになっています。本格的稼働は、平成14年度と認識しています。

また、財政健全化の問題は、12年度に市住民健診を新規に1件受託したので、良かったと思っているが、健診単価もここ4年間は据え置きで今後も、継続せざるを得ない状況下にあると思っている。さらに、総合健診についても企業の見直しや関連企業への委託等により他健診機関に移行したり健診項目を減少したりで、12年度以降は非常に厳しい環境下にあります。

その為、これからは、高度健診機器の更新延長、協業化の推進及び新規受託に向けての企業努力は勿論のこと、顧客確保の為には従来から行っている健診結果の統計、肺がん健診の追跡調査等を受託市町へのフィードバックなど、より充実したサービスに努めるつもりであります。

最近、定期外健診が多いがその原因者の多くは、未受診者であることから、住民健診の未受診者の受診促進を図るために受託市町と協議・検討を考えています。そのことにより受診率を高め、早期発見、定期外健診の減少並び、健診収入のアップに繋げたいので、重点的に推進していくつもりであります。

一方、当会の建物は建設後丸35年経過し老朽化していることと、東海地震が想定されている今日の建物としては、不向きなのは十分承知しているので建物の更新しなければと思っています。しかし、現在の社会経済情勢の厳しい中、先行き不透明であることと、将来の結核予防の健診業務の有り方についても非常に不安を持っている、しかも近い将来厚生労働省は結核予防法の改正を行うようであるので、これらを踏まえて当会のこれからの方針を決定し、健全財政に努めてまいり所存であります。



財団法人結核予防会 静岡県支部  
常務理事 花崎敏行

# 全国・静岡県の結核の統計

これまで継続的に減少してきた新登録患者数、罹患率が平成9年度に増加に転じたことを契機に、平成11年7月に「結核緊急事態宣言」が出されたことは記憶にあたるしいところでは。

全国では、平成9年度以降3年連続の増加となり、平成11年度の新登録患者は48,430人（前年度比4,414人増）罹患率は、38.2（前年度比3.4増）となっています。

静岡県では、平成9年度・10年度も減少が続いており、平成11年度には増加が見られましたが、平成12年度には大幅に減少しています。

本県の新登録患者の年齢構成は、60歳以上が67%と大きな比率を占めています。体力が弱まる高齢者には、定期検診や日頃の健康チェックが特に大切と考えられます。

結核の統計（静岡県健康福祉部感染症対策室資料）

## 1. 結核登録患者：登録患者数及び新登録患者数の推移

区分 年次	年末現在登録患者数				年内新登録患者数			
	全国		本県		全国		本県	
	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対	患者数	10万人対
昭和36年	1,615,099	1,717.1	38,692	1,391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
40	1,469,583	1,495.4	35,854	1,231.0	304,556	309.9	7,611	261.3
45	1,072,013	1,032.2	24,520	793.6	178,940	172.3	4,444	143.8
50	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
55	472,356	404.3	10,599	307.5	70,916	60.7	2,020	58.6
60	306,262	253.1	7,086	198.2	58,567	48.4	1,711	47.9
平成元年	238,189	193.2	6,737	184.2	53,112	43.1	1,549	42.4
3	210,423	169.6	5,773	156.7	50,612	40.8	1,560	42.4
4	202,193	162.5	5,506	148.0	48,956	39.3	1,467	39.4
5	191,584	153.6	5,170	139.3	47,437	38.0	1,367	36.8
6	181,470	145.1	4,903	131.7	44,590	35.7	1,406	37.8
7	168,581	134.3	4,536	121.3	43,078	34.3	1,240	33.2
8	132,958	105.5	3,459	92.3	42,472	33.7	1,125	30.0
9	121,762	96.6	3,086	82.1	42,715	33.9	1,105	29.4
10	113,469	89.7	2,636	70.0	44,016	32.4	1,035	27.5
11	113,069	89.3	2,701	71.5	48,430	38.2	1,155	30.6
12			2,193	58.2			988	26.2

## 2. 結核死亡者数

年次	全国	本県	死因順位(全国)
昭和36年	27,916	652	7
40	22,366	560	7
45	15,899	402	8
50	10,567	271	10
55	6,439	131	13
60	4,692	126	16
平成元年	3,527	90	18
3	3,327	81	20
4	3,347	91	21
5	3,249	75	21
6	3,094	76	23
7	3,178	104	23
8	2,858	71	22
9	2,742	60	22
10	2,795	83	22
11	2,935	86	21
12		27	

## 3. 新登録患者年齢構成（静岡県）

区分 年次	年齢別構成率						
	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
45	12.8	12.0	12.8	15.4	15.4	18.6	13.0
55	3.6	6.5	8.9	11.6	19.2	22.7	27.5
60	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成元年	2.3	6.8	6.2	9.7	16.4	21.1	37.5
3	1.2	5.8	5.7	9.3	15.2	24.1	38.7
4	2.5	5.2	5.0	8.3	14.2	25.9	38.9
5	1.4	6.8	4.2	8.2	14.0	25.8	39.6
6	1.6	5.7	5.9	8.2	14.6	24.1	39.9
7	1.9	5.6	5.1	9.9	13.2	22.5	41.8
8	1.8	6.8	5.4	9.2	13.3	23.5	40.0
9	1.4	8.0	7.0	8.0	10.5	22.2	43.0
10	2.1	5.7	4.7	9.0	12.2	20.9	45.4
11	1.4	6.8	6.2	7.5	11.3	17.9	48.9
12	1.2	5.7	5.7	7.6	12.3	16.1	51.5

## 4. 住民検診受診状況（静岡県）

年度	7	8	9	10	11	12
対象者数(人)	1,235,672	1,211,572	1,074,279	1,007,961	1,059,905	1,057,383
受診者数(人)	531,993	532,524	501,725	493,391	502,991	490,461
県受診率(%)	43.1	44.0	46.7	48.9	47.5	46.4

## 市町村保健センターの紹介



### 函南町保健福祉センター ほほえみの里

函南町保健福祉センターは、「ノーマライゼーション」の理念に立って、誰もが気軽に利用できる各種機能を備えた総合施設として、平成9年1月に開設しました。

当センター内は、保健福祉課（保健係、福祉係、高齢者福祉係）、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、老人デイサービスセンターが入っています。

保健事業については、町民の健康保持増進を目的に、住民健康診査、各種がん検診、生活習慣病予防の為の教室や健康相談等、また、新生児訪問、乳幼児健診及び相談（7ヶ月、1歳6ヶ月、2歳、3歳）、母親学級・両親学級、子育て教室などの各種母子保健事業、並びに予防接種事業などを行っています。

当センターは、保健、福祉、医療の連携による総合的サービスを提供する拠点となり、幅広い町民の参加を得ながら、健康で生きがいのある町づくりを目指すものです。

### 保健委員会活動中

函南町では、昭和57年に保健委員会が設置され、現在、35地区から選出された58名が、町長より委嘱を受け委員会を組織しています。主な活動内容は、健康づくりの為の研修会、町の住民健康診査への協力、及び地区活動です。

ここでは、地区活動について紹介します。地区活動は、町内小学校区5グループに分かれ、それぞれに実施計画を立てて活動するものです。今年度の地区活動は、心身障害者福祉施設通所者との調理実習

と食事会を通して交流を図るグループ、老人福祉施設でのボランティアをするグループ、老人デイサービスでの研修と老人福祉施設で使用する古布の裁断作業をするグループなどで、各グループメンバーが興味ある活動を意欲的に実施しています。

また昨年度から保健委員OBにより、町の子育て教室などでのボランティア活動を年間通じて行っています。

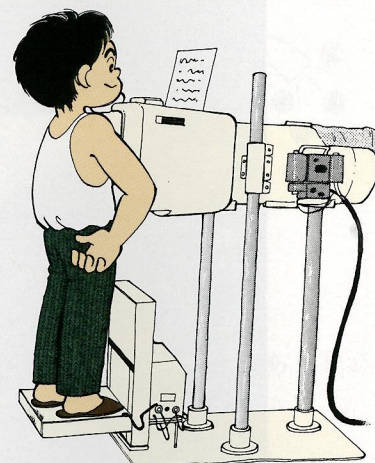
今後も、保健委員一人一人が健康づくりの意識を強くもって、健康な町づくりのために活躍してくれることを期待しています。

（函南町 保健婦 高橋直美）

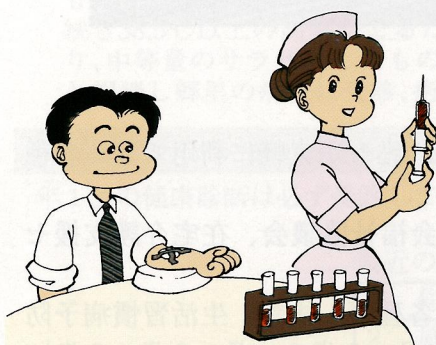


# 総合健診を施設及び出張で健康診断しています

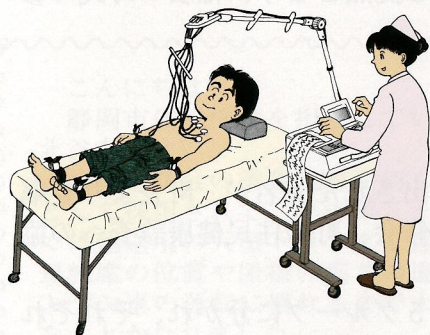
## 一般健康診断・成人病健診



項目	内容
A 法定健診 (A) (35才未満及び36才～39才の者)	診察、身長、体重、BMI、視力 (スクリノスコープ) 血圧、胸部X線間接撮影、尿検査 (糖・蛋白) 聴力 (低会話法)
B 法定健診 (B) (35才及び40才以上の者)	診察、身長、体重、BMI、視力 (スクリノスコープ) 血圧、胸部X線間接撮影、尿検査 (糖・蛋白) 聴力 (オーディオメーター使用) 貧血検査 [赤血球数 (RBC) ・血色素量 (Hb) ] 肝機能 (GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP) 血中脂質 (総コレステロール・中性脂肪・HDL-C) 糖検査 (HbA1c) 心電図検査 (安静時)



項目	内容
成人病健診 (E)	診 察 測 定—身長、標準体重、肥満度、BMI、 視力、聴力 (オーディオメーター) 呼 吸 器—胸部X線直接撮影 循 環 器—血圧、心電図、眼底検査 血中脂肪—総コレステロール・中性脂肪・HDL-C 腎 機 能—尿検査 (蛋白・潜血・沈渣)、クレアチニン、 尿素窒素 肝 機 能—GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP、T-Bil・血清総蛋白・ LAP・ZTT・アルブミン・ALP・LDH 糖 尿 病—尿糖・空腹時血糖・HbA1c 痛 風—尿酸 膵 機 能—血清アミラーゼ 貧 血—赤血球・血色素量・ヘマトクリット・白血球 消 化 器—胃部X線間接撮影 (胃がん) 便潜血反応検査 (大腸がん) 2日法 希望により 喀痰細胞診 (肺がん) 子宮がん—スミア法 (自己採取)
雇 入 時	① 法定健診 B法定健診 (空腹時血糖) + 色覚 ② 簡易健診 A法定健診 + 色覚 + 聴覚 (オーディオメーター) 35才未満に限る。
省 略 健 診 (G)	胸部X線間接撮影、血圧、検尿 (糖・蛋白) 但し、 <u>産業医が</u> おられる事業所



## 中川根町夜間住民検診：好評

昨年度から始まった夜間住民検診が今年も9月6日中川根町山村開発センターで行われ午後5時30分から8時まで235人の受診者があり勤め帰りの人、自営業の人でにぎわいました。

昨年92%の受診率をさらに好評の夜間検診で上げたいと役場の担当者の意気込みが感じられました。

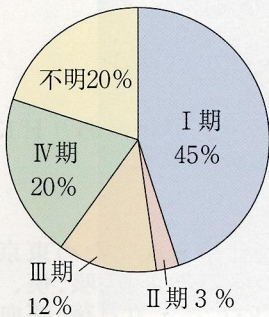


# 平成12年度肺癌精密検査結果

当支部受託の住民検診（13市町）に基づいた肺癌検診（40才以上）

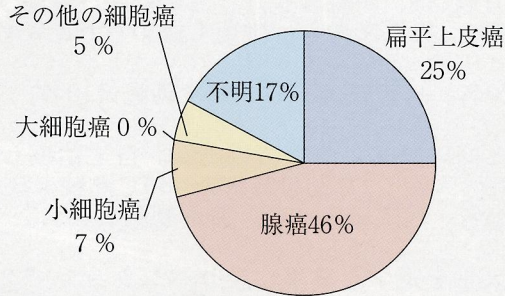
間接撮影	要医療機関受診	判定者	判定保留	原発性肺癌
109,206人	1,189人	1104人	73人	59人

臨床病期分類



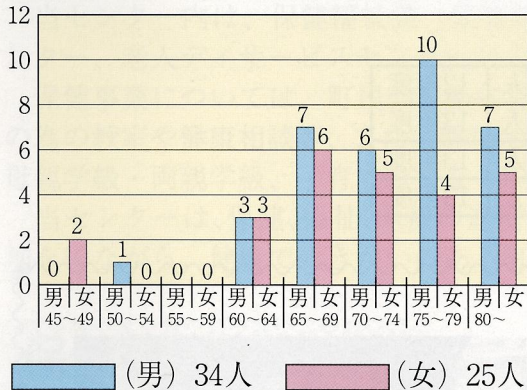
臨床病期分類	
I期	26
II期	2
III期	7
IV期	12
不明	12
計	59

組織分類

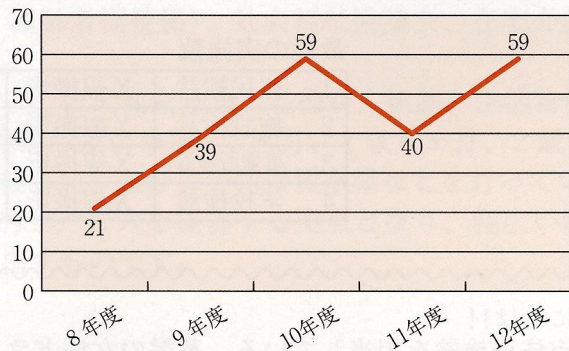


組織分類	
扁平上皮癌	15
腺癌	27
小細胞癌	4
大細胞癌	0
その他の細胞癌	3
不明	10
計	59

## 年齢別原発性肺がん



## 過去5年間における原発性肺癌発見者数



年 度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
間接撮影数	104,070	101,193	104,476	103,579	109,206

## 複十字募金運動にご協力を

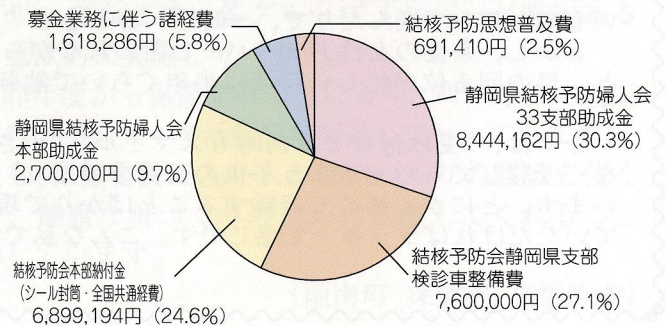
### 平成12年度の募金内訳

募金総額 27,953,052円

内 訳

組織募金 (静岡県結核予防婦人会協力)	郵送募金
24,881,328円	3,071,724円

### 募金使途内訳



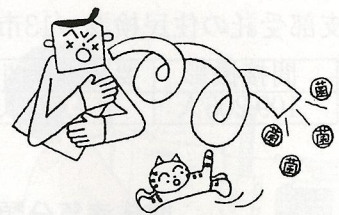
# 定期外検診の現状

## …患者接触者検診

### 接触者検診の目的

1. 発見された患者が周囲に結核を感染させていないかを知ること。  
\*接触者検診でのツベルクリン反応である。
2. その患者に感染させた者〔感染源〕が周囲にいないか知ること。  
\*エックス線写真と喀痰または喉頭粘液の結核菌検査。

長びくせきは  
赤信号



### 実例 1.

83歳 男性でH13.3月咳、痰、が続き6月に〇〇病院へ受診するが肺炎の診断で治療をうける。H13.9月胸部X線写真上、異常影あり、排菌も認められたため、結核病棟へ入院となる。患者は〇〇病院リハビリテーションを利用していた。  
\*検診対象者 患者20名。病院職員25名。非常勤職員10名。

### 実例 2.

83歳女性で息子夫婦と同居で50年前に結核概住。自宅治療していたが、治療歴は不明、脳梗塞ありH13.6月妄想出現で〇〇病院へ入院、7月26日37.5℃～40℃熱続き痰の検査実施、排菌も認められた。  
\*検診対象者 患者20名。病院職員25名。非常勤職員10名。

### 実例 3.

22歳男性東京の〇〇大学を退学し郷里に戻りペンションで2カ月のアルバイト後仕事を探すため東京へもどるが見つからず。郷里の自動車学校へ通うとともに合宿に参加、合宿が終わるころより、咳、痰、が続き38.5℃以上の高熱がでるため市販の薬を内服し、多少解熱したため様子を見ていた。1カ月後、咯血あり、中等量のサラサラしたもの寄り固まり出たが放置していた、あまりにも体調が思わしくないので母親と相談し郷里の病院に受診、病院より結核患者として連絡あり尚、在学中の胸部検診は未受診でした。

実例は、ほんの一部であります。結核は、家族、職場、友人に感染し迷惑をかける病気です。

年1度の健康診断は必ず受診しましょう。また体に変調があれば自己診断しないで、主治医に相談しましょう。

### 最近の実施数

1. 住民検診	X線撮影	直接	3907人	12年度
2. 施設検診	X線撮影	直接	243人	13年度
3. 事業所検診	X線撮影	直接	45人	13年度
4. 学校検診	X線撮影	直接	1516人	13年度

こんにちは!!

静岡市住民検診を担当している、茶髪の女性ドライバー北谷内です。

結核予防会の業務内容が何もわからないままドライバーとして採用されて、早1年5ヶ月経過いたしました。今までは輸送用の大型トラックを運転していたので最初の内は運転席の位置や屋根の高さの違いにより、戸惑ったりレントゲン車の運転に慣れるまで大変でしたが今までの経験でなんとかできました。

また、思っていた以上に事務処理や細かい仕事が多いことにびっくり、さらに住民検診の受診者の多いこと、受付するだけで目が回るくらいの忙しさで精一杯、余裕など全然なく、専門用語も覚えなければならなかったり、お年寄りや体の不自由な人に対しての接し方や手助けがどうしているものか判らず悩んだり、一時期、身も心も“くたくた”で辞めたいな一と思ったこともあった。

しかし、茶髪の女性ドライバーと言われながら、「ま!いっかなんとかなるさ」と1年を通してみると、目の回る位の忙しい時期は半年ぐらいで勉強をする時間もあり、やっていく自信が少しついてきました。

今では、“受け付けでは何時もスマイル”“小さい子供を連れて検診にくるお母さんたちにも気兼ねなく受診してもらえよう子供の面倒を看たり”とか女性を武器に仕事が出来ればいいな一と思っています。とにかく初めて経験することばかりで現在も毎日が勉強中の半人前ですが、長い目で見守っていただければラッキーで感じます。こんな私ですがこれからもよろしくお願いします。

(業務課 運転手兼事務 北谷内里美)



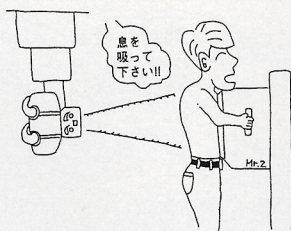
# 連載 なぜ・なぜ・なあに

## エックス線とは、どのようなものですか？

1895年 W.C.レントゲン博士が発見したことから"レントゲン線"とも呼ばれています。現在では正式な言い方は、エックス線写真とかエックス線撮影などと言いますが、日常会話では"レントゲン"でもかまいません。

人体では、骨、軟部組織などは"エックス線"は透過性が悪く、空気の多い肺などは透過性がよく、肺に病巣ができると、その透過性を利用して病巣を発見できます。

胃のような内臓器では、病巣が出来ても透過性に差が出来ず、バリウムや空気などを用い、透過性の差を利用することによってエックス線検査を行い、医療の場で診断に貢献しています。



「レントゲン検査」という言い方は、発見者である「レントゲン博士」の名前によるものです。



W・Cレントゲン

(検診課 検診係長 渡井雅文)

## 肥満は万病のもと?!

「肥満は万病のもと」とよくいわれます、これは誇張ではありません。肥満は、単に体重が多いことではなく、体に過剰の脂肪が固まった状態をいいます。ですから筋肉質で体重が多い人は肥満とは一概に言えませんし、逆に体重は普通でも体脂肪の割合が多ければ肥満（隠れ肥満）です。

隠れ肥満は、ダイエットを繰り返す若い女性に増えていると言われております。脂肪が過剰に多いと、中性脂肪が分解して出来る遊離脂肪酸が増えインスリンの働きが悪くなって糖尿病を招いたり、肝臓の機能を低下させてさまざまな生活習慣病のきっかけを作ります。又、中性脂肪が増加すると動脈硬化を促進し血管がつまりやすくなるため、心筋梗塞などを招きやすくなります。

肥満には、主に上半身、特にお腹の回りに脂肪がつく「リンゴ型肥満」（上半身肥満）とお尻や大腿につく「洋ナシ型肥満」があります。

生活習慣病と関係が深いのはリンゴ型肥満で特に皮下脂肪ではなく内臓に脂肪がついたリンゴ型が危険で男性がなりやすい傾向にあります。

最近、①上体肥満②高血圧③糖尿病④高脂血症の4つがそろくと心臓病にかかりやすい事が注目され、「死の四重奏」と呼ばれこれに喫煙が加わると「死の五重奏」とよばれさらに心臓病になりやすくなります。

ベルトの穴が一つ増えたら、生活習慣病に一步近づいた事を知りライフスタイルを見つめ直してください。

さあ！あなたの適正体重は？ぜひ計算してみてください。

あなたのBMI＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

BMI (ボディ・マス・インデックス)：肥満を知る目安の体格指数

「22」が最も病気が少ない標準的な値とされています。

「25」以上は肥り気味「18.5」以下は「やせ気味」と日本肥満学会で推薦されております。…どうでしたか?!

(総合健診課 主任 青木由香子)

## キ～オさんの～冒

作画 ミーゴ



# お知らせ

## 1 結核予防週間（9月24日～30日）

毎年この一週間を結核予防週間と定め、全国一斉に結核予防のキャンペーンを実施する。

静岡県は、県下静岡市他15地区において運動を展開する。特に、29日静岡市青葉公園前呉服町通りにおいて静岡県、静岡市保健所、結核予防会静岡県支部、静岡県結核予防婦人会の4者で結核予防の大切さを訴えるともに複十字シール募金キャンペーンをおこないます。

## 2 静岡県結核予防大会

(1) 主旨 本県に於ける結核予防運動の推進を図る為、県民に結核の問題を理解していただくことと協力を御願ひする機会とする。また、「結核緊急事態宣言」に基づき結核の問題を再認識し、対策の推進を図る。

(2) 主催 財団法人結核予防会静岡県支部・静岡県結核予防婦人会

(3) 後援 静岡県

(4) 日時 平成13年9月28日（金）午後1時～3時40分

(5) 会場 静岡県総合社会福祉会館（静岡市駿府町）7階大ホール

(6) 講演 「結核の現状と問題点」講師 結核予防会顧問（前会長）島尾忠男

## 3 結核、肺がん関係パネル等の貸出…無料

パネル、フィルム、シャーカステン、ビデオ

## 4 結核関係図書、パンフレット等の斡旋……財団法人結核予防会発行

**図書** JATAブックスシリーズ「結核症の治療」他15冊、厚生労働省通達関係全8冊「ヴジュアルノート結核シリーズ」全7冊、「メデカルカンファレンス」全3冊、その他JATAテキスト、「結核統計」等…

**パンフレット** 「長びくせきは赤信号」「ひとめでわかる結核と肺がん」「改訂結核読本—結核とはどんな病気か—」等…

## 5 財団法人結核予防会ではホームページを開設しております

ホームページアドレス <http://www.jata.or.jp/>

## 6 静岡県支部Eメール アドレス tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp



## 進んで受けよう健康診断

結核検診

肺がん検診

胃がん検診

## 職員の表彰



根本 裕志

静岡地区安全運転管理者協会  
優良運転者表彰



鈴木 順一

結核予防会30年永年勤続表彰



大石 恵子

結核予防会20年永年勤続表彰



「いきもち、うれしいな」  
藤本 綾子



「紅梅の香り」  
花田 功



「花束（おめでとうの言葉を添えて）」  
入口 明

## 平成13年度採用複十字シール

### 複十字の由来

複十字（The Red Double-Barred Cross）の歴史は古く、九世紀頃近東でキリスト教派の標として使われていた十世紀になり十字軍が楯の紋章として戦った事から、その栄光ある戦果に因んで、平和と希望の象徴として用いられるようになった。

複十字が、宗教的意味合いを離れて万国共通の結核予防の標となったのは、1902年ベルリンで開かれた第一回国際結核会議において満場一致で決められたのです。現在、わが国では、シールはもちろん、レントゲン車、パンフレット、その他結核運動を行う際に使用しています。

### 編集後記

当会のガイド誌を創刊出来て良かったと思っています。情報誌「結核しずおか」を発行して二年後にやっと案内書が発行できてホットしています。どちらかと言うと業務案内書の方が先だったかと思うが、いずれにしても当法人を知っていただく為の資料であるからと自己満足しています。

これからは、資料の充実とともに年報の発行をしたいと決意を新たにしています。

(T・H)

【題字：田中隆：元支部職員】